



2023年度 上期のご報告
2023.4.1-2023.9.30

～“感動消費”の高まりを受け、集客エンタテインメント市場全体が回復～
ライブ・イベント開催が活発化 大規模な**スポーツ国際大会**、
全国ツアー、**来日公演**等**大型案件**の**発売**が**集中**

上半期では**過去最高の取扱高**を記録

通期の
目標達成も
見通せる状況に

ぴあフェス
マイナンバー
バーカード
活用の実証実験

落語
動画
1,000本
の見放題サービスがスタート!
ぴあ落語ごんまい



順調にスタート

3ケ年の「中期経営計画」初年度は

2025年大阪・関西万博

ホスピタリティ事業

DX事業

成長事業、トライアル事業、
人的資本経営への投資を強化



第45回 開催 海外映画祭でも注目の的
スカラシップから**続々と受賞作品**が誕生

ぴあ総研 第2回目のシンポジウム開催 **SDGs18番目の目標**に提言

**"Making Life and Society rich with Art,
Culture, Entertainment and Sports."**

～文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を～



ぴあグループが作成した
SDGs18番目の目標のロゴ



代表取締役社長
矢内廣

ぴあを応援してくださる皆様へ 3ヶ年の中期経営計画を達成し、 100年企業へと歩みを進めます

V字回復へ確かな一歩を

皆様には平素よりご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。集客エンタテインメント業界から約8割もの市場を奪ったコロナ禍から時を経て、日本の経済活動も正常化への道を辿っております。コロナの5類移行後の集客制限の撤廃や興行規模の拡大、チケット価格の上昇などが追い風となり、集客エンタメ市場も復調に転じつつありますが、各種物価の高騰や円安の進行など、その減速リスクも看過できません。ぴあグループでも市場回復の好況に気を緩めることなく、引き続き全社一丸となってV字回復に向けた施策に注力しております。

5月に公表した新たな中期経営計画(2023~2025年度)の初年度となる当社グループ上半期の連結業績は、人気アーティストの全国ツアー、ドーム規模の海外アーティストの公演、大規模な屋外フェス、スポーツの国際大会などの大型案件が集中し、取扱高ベースでは過去最高を記録しました。また、デジタル庁のマイナンバーカード利活用の実証実験を受託した「ぴあフェス(PIA MUSIC COMPLEX)」をはじめとする各種主催事業や、『大谷翔平語録』や『森のカフェと緑のレストラン』などの出版商品が堅調に推移したこと、「ぴあアリーナMM」が本格稼働したこと等も伴い、営業利益や経常利益においても期初想定を上回りました。現時点で、通期目標の達成が十分に見込める状況となっております。

中期経営計画を支える新規事業

中期計画の実現に向けては、新規事業の育成・創出も進めています。その一つである「ホスピタリティ事業」では、トライアル商品の企画販売をスタートしました。「NTTジャパンラグビーリーグワンプレーオフ決勝」や「セルティックFC・ジャパンツアー2023」、「FIA世界ラリー選手権(WRC)フォーラムエイト・ラリージャパン2023」など、複数の大規模イベントで付加価値の高い鑑賞プランを提供し、お客様の体験価値の向上をテーマに、さまざまなスタイルのプログラムを開発しています。また、2025年開催予定の「大阪・関西万博」の入場券販売システムの受託業務についても、無事に11月末の発売を迎え、引き続き2年後の本番に向けた準備を続けています。今後も、サッカーやラグビーのW杯、オリンピック・パラリンピックなどの経験を活かし、国際的イベントのチケットング業務を担いながら、海外との連携の強化も図ってまいります。

また、12月6日から、落語高座の実演映像が月額で見放題となるサブスクリプションサービス「ぴあ落語ざんまい」を開始しました。1,000本を超える多彩なラインナップを取り揃えた、業界最大規模の動画配信サービスで、今後も続々と新作映像を追加予定です。長年のファンにも、あるいは寄席やホール落語のない地方在住のファンの方々にも、広くお楽しみいただける内容となっておりますので、この機会にぜひご利用ください。

2023年度上期の主な活動

4 月	5 月	6 月	7 月
<ul style="list-style-type: none"> ■ぴあスポーツビジネスプログラム 第3期開講 ■ぴあMOOK『美術展ぴあ2023』重版 ■ぴあMOOK『すごい公園本 東海版』3刷実施 ■『スゴイ!公園本』入園無料の公園ガイド 	<ul style="list-style-type: none"> ■ぴあ総研シンポジウム「文化芸術・集客エンタメは、人々と社会をどう豊かにできるのか」開催 ■「METROCK2023」(大阪・東京)を主催 ■「ぴあ presents クリーブハイブ尾崎世界観とラランド ニシダの『ダブルスタンダード』」がラジオアプリGERAで配信開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■第50回定時株主総会を開催。オンライン配信も実施 ■ぴあ初の公式ホスピタリティチケット登場。ラグビーリーグワンプレーオフ決勝でホスピタリティプログラムを販売 ■第50回定時株主総会を開催。オンライン配信も実施 ■ぴあMOOK『ぴあMUSIC COMPLEX(PMC)SPECIAL EDITION 3 Mrs. GREEN APPLE』重版 	<ul style="list-style-type: none"> ■アジアを巡回中の「進撃の巨人展FINAL」、韓国・ソウルにて開催 ■「POKEMON COLORS YOKO HAMA」(横浜)主催

社業を通じた社会への貢献も

「映画の新しい才能の発見と育成」を目指して1977年より取り組んでいるPFF(ぴあフィルムフェスティバル)は、お陰さまで今年で開催で45回目を迎え、日本映画界を背負って立つプロの映画監督を180名以上も輩出してきました。今年には557本の応募作品の中から、中野晃太監督の「リテイク」がグランプリに輝きました。PFFが製作から劇場公開までをプロデュースする長編映画製作援助システム「PFFスカラシップ」で作られた作品も、昨今では海外の映画祭で多くの賞を受賞しています。株主総会でご覧いただいた「すべての夜を思いだす」(清原惟監督)をはじめ、今後も続々と公開予定のスカラシップ作品にもどうかご期待ください。

また、東日本大震災の直後から被災地の「心の復興支援活動」を続けてきた一般社団法人チームスマイルは、2022年末をもってその活動を終了しましたが、エンタテインメントを通じた心の復興支援活動の継続が評価され、先般、福島県より県外在住功労者知事表彰を受けました。賞の特性上、私個人としての受賞となりましたが、多くの方々のお力添えとご賛同があってこそその活動でした。今後も常に感謝の気持ちを忘れることなく、ぴあは社業を通じて若い世代や新しい才能の応援を続けてまいります。

SDGsの18番目に文化・芸術の必要性を

SDGsは17項目の達成目標を設定していますが、その中には文化・芸術に直接触れた項目がありません。しかし私たちは、エンタテインメントは人々が生き生きと生活するために不可欠なものだと信じています。当社シンクタンクのぴあ総研では、「文化芸術・集客エンタメは、人々と社会をどう豊かにできるのか」と題し、5月31日に第2回目のシンポジウムを開催しました。「SDGsの18番目に文化芸術に関する新項目を」というテーマで基調講演をお願いした都倉俊一文化庁長官からは、「文化芸術というのは人間であるということの証明。人々はこの人類の歴史でもある文化芸術を享受し、人生を豊かに送る権利がある、と規定したい」と心強いお言葉をいただきました。ぴあグループは、“Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports.”(～文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を～)がSDGs18番目の目標として認定されることを目指して活動してまいります。

ぴあは100年企業に向けて、新しい50年の1歩目を踏み出しました。グループ全役員・従業員が一丸となって、集客エンタメ産業を中心とする、“ひとりひとりが生き生きと”した社会の実現に向けて努力してまいります。皆様にはどうか引き続き、温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

4年ぶりに懇親会や上映会も実施。第50回定時株主総会



6月17日に行われた定時株主総会は、行動制限の緩和を受け、356名の株主様にご来場賜りました。総会の終了後は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から休止していた、恒例の株主様と経営陣との懇談会や、社長の矢内も参加するオリジナルキャラクター「びっけろ」「くまっぴー」との撮影会なども4年ぶりに実施しました。矢内の自伝本『岩は、動く。』への直筆サインのリクエストにもお応えでき、株主様との和やかな交流の時間を持つことができました。午後からは、同じく4年ぶりに上映会が行われ、PFFスカラシップ作品「すべての夜を思いだす」(清原惟監督)をお楽しみいただきました。

■チケット流通事業 ■コンテンツ事業 ■ソリューション事業 ■会場事業 ■メディア&プロモーション事業 ■社会貢献・CSR活動 ■IR活動

8月

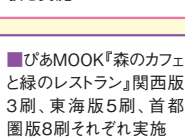
9月

10月

■「2023 神宮外苑花火大会」を主催



■「ぴあフェス2023」(東京・若洲)を開催、マイナンバーカード実証実験を実施



■「第45回ぴあフィルムフェスティバル」を開催。アワード入選作はDOKUSO映画館に加え、U-NEXTでも配信



■情報アプリ「ユニタビ」がサッカー観戦とシェアサイクル利用を通じた地域経済・観光活性化に向けて「HELLO CYCLING」と連携開始

■ぴあMOOK『森のカフェと緑のレストラン』関西版3刷、東海版5刷、首都圏版8刷それぞれ実施



■「HAPPY EARTH FESTA 2023 YOKOHAMA」(横浜)を企画・運営

■「サステナビリティイベント「HAPPY EARTH FESTA 2023 YOKOHAMA」(横浜)を企画・運営

■「国立競技場 Enjoyリレーマラソン supported by ぴあ」開催



■ぴあ刊『ジェイソン流お金の増やし方』の22刷を実施

■名古屋グランパスvs.アルビレックス新潟 ホスピタリティプログラムを販売

■プロ野球ヤクルトスワローズvs阪神タイガーズ「ぴあDAY」開催



■「GMM TV Fan Fest 2023 Live in Japan」主催

■チケットASPサイト「QUICKぴあ」をリリース



■新サイト「Ticket RUGBY」(通称:「チケラグ」)サービスの提供開始



落語の高座動画1,000本の見放題サービス

「ぴあ落語ざんまい」がスタート!

「新宿末廣亭」の全面協力のもと、実際の高座を収録した1,000本以上の映像を、定額見放題で楽しめる動画配信の新サービス「ぴあ落語ざんまい」がスタートしました。人間国宝の五街道雲助師匠をはじめ、柳家花緑師匠や古今亭菊之丞師匠などの人気落語家はもちろん、期待の若手も対象に、会派を越えた100名以上の多彩なラインナップを月

額990円(税別)でお楽しみいただけます。本プロジェクトは、コロナ禍に適応して開発・実装した配信サービスから、ノウハウやヒントを得た新規事業のひとつです。オリジナルの落語会なども主催しながら、ぴあならではのサービスとして開発してまいります。ぜひ、お試しください! 登録はこちらから→



日本のエンタメ界にもホスピタリティ事業の定着を

高付加価値体験を提供するホスピタリティサービスの開発

トップカテゴリーの観戦・鑑賞チケットに、クオリティの高い飲食やギフト、サービスの提供を組合せた商品を企画・販売するホスピタリティ事業は、今年「PIA DAIMANI Hospitality Experience株式会社(PDHX)」を設立して以降、着々と取り扱い公演を拡大し、多くのお客様に特別な体験をお楽しみいただいています。「NTTジャパングビーリーグワン2022-23 プレーオフトーナメント決勝」に始まり、サッカーではJリーグや海外招聘試合(3試合)、ジャパンオープンテニス、世界ラリー選手権など、国内のみならず世界から注目を浴びる公演で、付加価値の高い鑑賞プランを企画・販売しました。こうしたサービスは欧米ではすでに広く普及していますが、日本ではまだ知られていませ

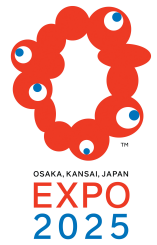


ん。興行収益の拡大をバリアフリー化や青少年の招待に充てることで、業界全体のサステナビリティにも繋がるものと考えています。



ラグビーW杯、オリンピックに続き、「大阪・関西万博」のチケットング業務を受託

「東京2020オリンピック・パラリンピック」に続き、2025年4月に開催を控えた日本国際博覧会(大阪・関西万博)においても、ぴあでは入場券販売の公式Webサイトを構築し、入場券販売管理から来場者の入退場管理まで、一連の機能を搭載したシステムを提供します。これまでの多数の国際イベントのチケットングのノウハウを活かしながら、ぴあグループは今後もこうした国際的なイベントへの参画を強化してまいります。



©Expo 2025

日本のエンタテインメントを海外へ!ぴあグローバルエンタテインメント(PGE)

PGEでは、様々なスタイルで、日本のエンタメコンテンツを海外に輸出する事業を展開しています。エンタメ業界は、コロナ禍による出入国規制が緩和されて以降、アーティストが海外進出を図る動きが活発化してきましたが、PGEではこうしたアーティストの海外ツアーのコーディネートや運営のサポートなどを担っています。

GABRIELLA
アニメ・ゲーム等のテーマ曲を手掛ける。中国の動画サイトで人気沸騰、今や中華圏では誰もが知る人気者に



アジアツアー
全6公演をコーディネート



台北・香港・上海公演
全5公演を全面サポート

櫻浦由記
「鬼滅の刃」機動戦士ガンダムSEED等のアニメ作品を中心に、幅広いジャンルで楽曲を手がける人気作曲家

デジタル庁からの委託を受け、「ぴあフェス」にてマイナンバーカード活用の実証実験

ぴあ主催事業の中でも特に大きな秋のイベント「ぴあフェス」が、真夏のような暑さの中、今年も東京・若洲公園で開催されました。9/30、10/1の2日間にわたり、3つのステージに合計32組のアーティストが出演し、多くのお客様に楽しんでいただきました。

今回は、デジタル庁からの委託を受け、マイナンバーカード活用に関する実証実験の運営をぴあが全面的に担い、カードの持参率の検証、本人確認ツールとしての運用実験の2つの実証を行いました。来場者の6割以上がZ層という当公演において、当日は来場者の約4割にあたるお客様がカードを持参されるなど、若年層の高い持参率を確認できました。デジタル庁からも、非常に意義のある実証実験だったとの評価を得ています。



撮影:深野録美・コヤマジュン

これから開催予定のぴあ主催(出資)イベント



スパイストラベラー presents
マサラフェス2024
2024/1/20(土)・21(日)
●横浜・ぴあアリーナMM



桂二葉チャレンジ!!
第2シリーズ
2024/1/26(金)
●東京・有楽町朝日ホール



ミュージカル オペラ座の怪人
～ケン・ヒル版～
2024/1/17(水)～28(日)
●東京・東急シアターオーブ

～持続可能な社会に向けて～

映画の新しい才能の発見と育成を「第45回ぴあフィルムフェスティバル」開催



当社がCSR活動として1977年より取り組んでいる「ぴあフィルムフェスティバル(PFF)」が9月に開催されました。映画の新しい才能を発見し、広く紹介し、その才能を育成することを目的とした映画祭は今年で45回目を数え、すでに180名を超えるプロの映画監督を送り出してきました。本年の「PFFアワード」では、557本の応募作品の中から選り抜かれた22の入選作品より、中野晃太監督の「リテイク」がグランプリを受賞しました。

また、企画、脚本、撮影から劇場公開、その後の二次利用まで、PFFアワード受賞者の商業映画デビューを総合的にプロデュースする「PFFスカラシップ」では、第26回作品「すべての夜を思いだす」(清原雅監督)や第27回作品「裸足で鳴らしてみせろ」(工藤梨穂監督)がいずれも海外の映画祭で表彰を受けるなど、著しい躍進を果たしています。今年のパフで初上映された第29回作品「恋脳Experiment」(岡田詩歌監督)にも、どうぞご期待ください。

※「すべての夜を思いだす」は来年度中、公開予定です



「恋脳Experiment」
監督: 岡田詩歌
出演: 袴キララ、平井亜門、中島歩
役者達の見事な身体表現と監督自らが作るアニメーションとが融合し、新しい映画が誕生!
©2023 ぴあ、ホリプロ、電通、博報堂DYメディアパートナーズ、一般社団法人PFF

“感動消費”の高まりを受け、予測値以上の市場回復『2023ライブ・エンタテインメント白書』を発行

ぴあ総研が毎年調査・編集を行っている『ライブ・エンタテインメント白書』の最新版が発行されました。昨年3月に外国人の新規入国が緩和されたほか、大規模会場でも「声出しなし」等の条件のもと、コロナ禍以降初となる収容率100%での開催が可能になると、音楽コンサート市場を中心に国内ライブ・エンタテインメント市場は急速に回復軌道に乗りました。同書では、2022年の市場規模は前年増減率84.0%増の5,652億円、コロナ前の2019年と比べると10.2%減でコロナ禍前の約9割まで回復していると、5類 移行の追い風を受けた2023年においては、2019年以上の市場規模に達すると推測しています。このほか、巻頭企画としてライブ・エンタテインメント産業における人手不足問題についてのレポートも収録されています。

また、今年5月にはぴあ総研主催による第2回目のシンポジウム「文化芸術・エンタメは、人々と社会をどう豊かにできるのか」が開催され、人生を豊かに生きるための文化芸術やエンタメの重要性が改めてディスカッションされました。そしてSDGs18番目の目標に「Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports.」(～文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を～)を設定したい、というぴあグループの提言について、登壇した講師やパネリストの皆さんからも熱い支援の声をいただきました。



基調講演にご登壇いただいた都倉俊一文化庁長官

そのほか、茂木健一郎氏、堀義貴氏、村井満氏、北川フラム氏、里中満智子氏、野村萬斎氏にもご登壇いただきました

ぴあの最新の出版物

70万部超えのベストセラーとなった前作に続く待望の新刊『ジェイソン流 お金の稼ぎ方』は、発売前から重版がかり、すでに大きな話題に。他にも、人気アーティストのMOOKからグルメ・レジャー誌まで、様々なジャンルの出版物を発行。



アゲアゲめし
AWARD
公式ガイドブック
[11月発売]



東京
老舗名店案内
[8月発売]



究極のラーメン
2024 関西版
[11月発売]



森のカフェと
緑のレストラン
静岡版
[6月発売]



文具女子博
2023
パーフェクトガイド
[11月発売]



ぴあMUSIC
COMPLEX
(PMC) Vol.30
[11月発売]

11/20 発売

ジェイソン流 お金の稼ぎ方

厚切りジェイソン
「稼ぐ力」が身につく!

ジェイソン流 お金の増やし方 待望の続編!

ジェイソン流 お金の稼ぎ方

11/20 発売

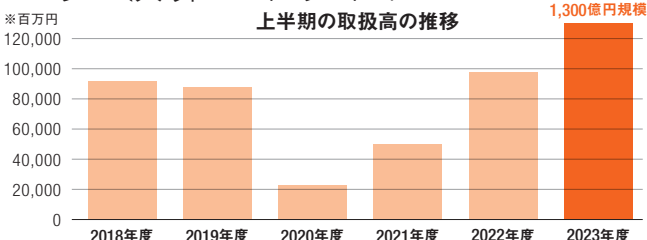
ジェイソン流 お金の増やし方

厚切りジェイソン
「増やし方」が身につく!

ジェイソン流 お金の増やし方 70万部超えのベストセラー!

ジェイソン流 お金の増やし方

ぴあの決算ハイライト



当社が事業基盤とする国内レジャー・集客エンタテインメント市場は、集客制限の撤廃に伴い、ライブ・イベント開催の動きが活発化しており、明らかに回復しています。また、これまで抑制されてきたエンタメ活動への反動消費もあり、興行規模の拡大、チケット単価の上昇等により、市場全体が着実に推移しています。当社においても、第1四半期に続き、人気アーティストの全国ツアーやドーム規模の来日公演、大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件の発売が集中し、特にインターネット経由でのチケット販売が好調でした。その結果、当第2四半期連結業績は、取扱高ベースでの売上は1,300億円規模となり、過去最高の水準となりました。主催事業や出版商品、ぴあアリーナMMの稼働率等が堅調だったことも併い、営業利益、経常利益においても、期初想定を上回る形で進捗しています。

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。 <https://corporate.pia.jp/ir/>

会社情報 (2023年9月30日現在)

会社概要

商号	ぴあ株式会社 (PIA Corporation)
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー
設立	1974年12月
資本金	6,410百万円
社員数 (連結)	387名

事業内容

音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、コンサートやイベントの企画・制作・運営、スポーツ団体・劇団・ホールなどへの各種ソリューションサービスの提供、ぴあアリーナMMなどホール・劇場の企画・運営、エンタテインメント・レジャー領域を中心としたネットメディアや出版物の企画・編集など、エンタテインメント全般に付随する各種事業

役員

代表取締役社長	矢内 廣
取締役副社長	木本 敬巳
専務取締役	吉澤 保幸
常務取締役	村上 元春
取締役	小林 覚
取締役	東出 隆幸
取締役	川端 俊宏
取締役 (社外)	宮本 暢子
取締役 (社外)	一條 和生
取締役 (社外)	宮地 信幸
取締役 (社外)	石田 宏樹
取締役 (社外)	村井 満
取締役 (社外)	佐藤 則之
常勤監査役 (社外)	能勢 正幸
監査役 (社外)	松田 政行
監査役 (社外)	宮地 悟史
監査役 (社外)	糸谷 祥輝

主要グループ会社

チケットぴあ名古屋株式会社
チケットぴあ九州株式会社
ぴあ総合研究所株式会社
ぴあグローバルエンタテインメント株式会社
ぴあフィールドサービス株式会社
株式会社東京音協
MECぴあクリエイティブ株式会社
ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社
PIA DAIMANI Hospitality Experience株式会社

株式の状況

発行済株式総数	15,621,313株
株主数	25,624名

主な株主

株主名	持株比率 (%)
矢内 廣	19.53
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	9.02
KDDI株式会社	8.96
凸版印刷株式会社	6.96
きらぼしキャピタル東京 Sparkle 投資事業有限責任組合	5.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4.58
株式会社セブン&アイ・ネットメディア	4.51
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	4.51
三菱地所株式会社	4.35
株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	2.09
矢内アセットマネジメント株式会社	1.28

株式メモ

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4337
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です)
公告方法	電子公告 (URL) https://corporate.pia.jp/ir/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	
電話お問い合わせ先	TEL.0120-782-031
インターネットホームページ	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html

株主優待のご案内

株主優待制度について

2023年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の通り株主優待を実施しています。

1. 優待品目

① オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカードから、下記優待金額 (年2,500~11,000円) の範囲内で自由に組み合わせて事前選択していただくことができます。

② アプリ

[有料コンテンツの利用]

年6,000円分

2023年3月31日時点で2期継続、100株以上を保有していただいている株主の皆様は、通常年間6,000円がかかる「ぴあ」(アプリ)の有料コンテンツを1年間無償でご利用いただけます。詳しくは、対象となる株主様に別途送付されるお知らせをご覧ください。

2. 優待区分

保有期間 保有株式数	2期末満 (1年未満) 保有	2期以上 (1年超) 継続保有	
	優待	優待	アプリ
1,000株以上	5,500円分	11,000円分	ぴあ 年6,000円分
100株以上	2,500円分	5,000円分	ぴあ 年6,000円分

株主様限定! プレゼントキャンペーンのお知らせ

ご好評をいただいています、株主の皆様を対象とした、プレゼントキャンペーンのご案内です。今回は、「ぴあ」(アプリ)にてそれぞれ特典ラインナップを入れ替えたスペシャルバージョンを3回にわたって実施します。沢山のご応募、お待ちしております。



お宝放出となる情報誌「ぴあ」最終号や、ぴあオリジナルデザインのTOHOシネマズギフトカード、アートレジャー施設の招待券に加え、ぴあ刊行の人気MOOKや書籍まで、様々な賞品をご用意しています。

詳細はこちら <https://w.pia.jp/t/ticket-enq/>



※詳細は、同封のご案内をご確認の上、「ぴあ」(アプリ)からご応募くださいますようお願いいたします。